

ロボット
エスアイヤー
Sler

ロボットと一緒に、生産・物流を支える未来をつくります

株式会社日本設計工業

所在地／浜松市中央区大原町500 TEL.053-436-6161 <https://recruit.nisssetsuko.co.jp>
創業／1973(昭和48)年12月 従業員数／143名(2026年5月現在)



もっと、くわしく
みてみよう!

しょくばけんがかのう
職場見学可能です

私たちの仕事

工場で作られたモノを、工場内のいろいろな場所に自動で運ぶためのマテハン設備をつくっています。代表的なものは、回転寿司で注文したお皿が流れてくる仕組みを工場向けに大きくしたコンベヤです。いろいろな仕事をお客さまからもらっている中で、特に注目してほしいのはロボットSler(システムインテグレーター)という役で、これはロボットの手の部分を作ったり、プログラミングをして考える力をつけて、ロボットが働くことのできる状態にすることです。

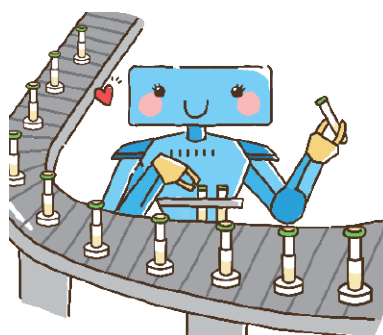


▲外観

? ロボットSlerの仕事とは?

ロボットに命を吹き込む仕事

ロボット屋さんからロボットを買ってきてすぐには使えません。ロボットに働いてもらうにはたくさんの準備が必要。そこでロボットSlerの出番です。



パーツ作成



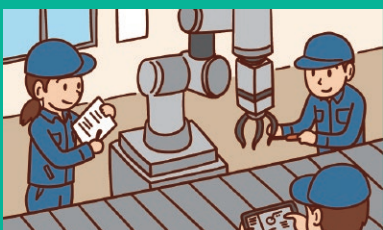
ロボットには手がついていないので、ロボットハンドを作成します。

プログラミング



ロボットに動作を覚えさせるために、プログラミングをします。

コンベヤ製作



周辺の設備(コンベヤ)を製作してしっかり動かす確認。一緒にロボットも問題なく動かす確認します。

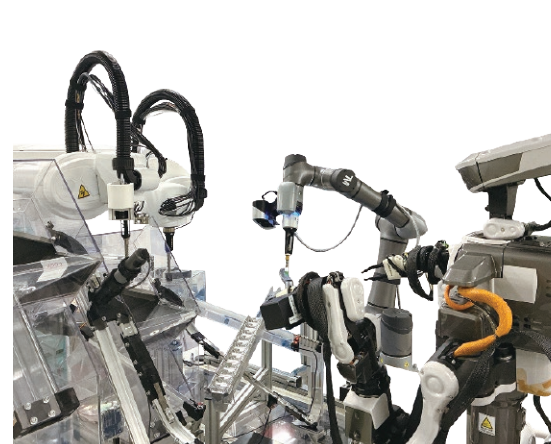
? どんなものをつくっているの?

実際につくられた製品を見てみましょう

モノを運ぶコンベヤの中にロボットを使うことがあります。ロボットSler(システムインテグレーター)として、ロボットが実際に活躍できるようにしました。



部品組み立てシステム



3台のロボットが協力して、たくさんの部品を組み立てています。AIやセンサーで部品の微妙なちがいをもしっかり判断することができます。

錠剤搬送システム



薬をつくる工場に使われています。錠剤が割れないようになめらかに動きます。人間のように優しい力加減で、別の容器へ移し替えます。

はたら ひと こえ 働く人の声

仕事のやりがいを聞いてみました。

部品調達担当

Kさん

機械設計担当

Nさん

ほしい部品を探して集める達人

私の仕事は機械を動かすのに必要な部品を買ってくることです。足りないものがあると機械がうまく動かないので、まちがいに全部そろえることを心がけています。

ロボットと機械をつなぐ設計者

私の仕事は、人の代わりに働くロボットや機械を考えることです。自分で考えた機械が完成すると、とても達成感があります。